

人権だより

大空



第17号

2011年10月11日発行

徳島県立阿南支援学校

ひわさ分校進路課（人権教育）

吹く風が涼しくなり、過ごしやすくなってきました。長かった夏もようやくおわりですね。人権だより「大空」は今号で第17号となります。「大空」は、

「君たちよ。風の声に翼をのせて、高く高く舞い上がれ。

君たちの向かう大空はどこまでも高く、どこまでも広い。

大空をへだてるものなど何もなく、風は自由に吹きわたる。

僕たち人間もまた、なにものにもへだてられることなく、自由でいたい。

どこまでも高く、どこまでも広い大空のように。」

このような願いをこめて、2008年度から発行しています。人権について考えるきっかけになればと思っています。どうぞよろしくお祈いします。



## 児童生徒作品



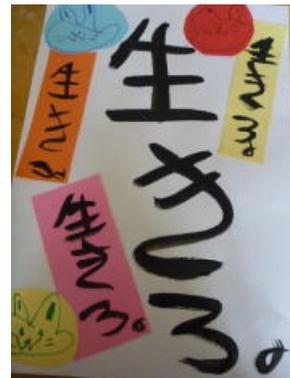
人権ポスターの紹介です。



小学部 福富大輝



中学部 松原 直哉



高等部 浅田 大樹

## 神戸市の「人と防災未来センター」に行ってきました！！

高等部1年生の昇竜治さんが、「中・高生による人権交流事業」に参加しました。「中・高生による人権交流事業」とは、「県内の中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が、人権について語り合うことをとおして、人権尊重の理念についての理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身につけた生徒を育てる」という趣旨のもと、行われています。具体的には人権交流集会（12月）を行ったり、また、県内3つのブロック（中部・南部・西部）に分かれ、交流や先進地研修等の活動を行っています。

8月26日、南部ブロックの中・高生70名とともに、神戸市にある「人と防災未来センター」に行きました。震災体験フロアで大型映像と音響で阪神淡路大震災を体感したり、語り部による震災時の体験談を聞いたりしました。東日本大震災のビデオも合わせて視聴し、地震や津波の怖さと防災の大切さを学んできました。



### 「人と防災未来センターに行って」 昇 竜治

ぼくは、最初にシアターに行って地震のすさまじさを実感しました。もしぼくらの地域で地震が起きたらと思うとすごくこわかったです。震災直後の町は、言葉にできないくらいの光景でした。日本は地震の多い国なのでいつ地震が来てもおかしくないです。地震が来たらまず机の下にもぐり、地震がおさまったら窓を開けてにげ道を確認したいです。人と防災未来センターに行って、あらためて防災の大切さがわかりました。

東日本大震災のビデオも見ました。死者が15,648人でほとんどが津波の被害でした。津波もこわいと思いました。

南海大地震に向けて人と防災未来センターに行ったことを生かしたいです。